

## Fitshelf

フィットシェルフ

## オンボード工法用 施工説明書

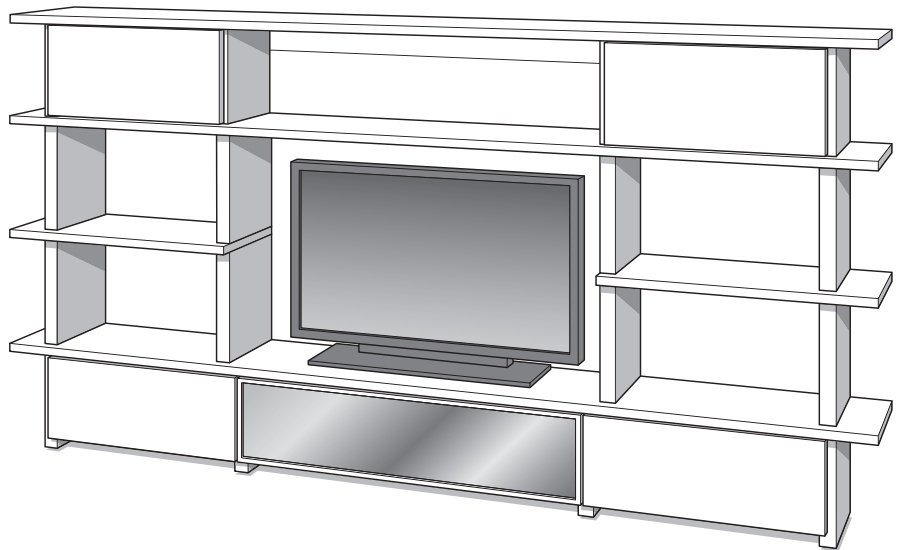
## 施工業者様へ

弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。必ず、取扱説明書をお施主様に手渡し、使用方法を説明していただきますようお願いいたします。

※取扱説明書は下記のURLからダウンロードできます。  
<https://www.daiken.jp/qr/manual/>



オンボード工法とは、RC造、戸建の石こうボード壁やコンクリート壁に棧を接着固定し、棧に収納をビス固定する施工方法です。



■ 施工前に必ずご確認ください。

この工法では、専用接着剤が必要です。オンボード工法用部材は一度接着すると簡単には取れませんのでご注意ください。

- 本製品の性能と安全性を確保するために、この施工説明書をよくお読みいただき、手順どおりに正しく施工してください。
- この施工説明書に出てくる△注意や■施工上のご注意・△警告は、施工上重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業を行ってください。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。
- 取扱説明書（別紙）は、必ずお客様にお渡しください。（設置終了後、使用方法を説明してください。）

■ 施工の際は、以下の工具をご用意ください。

- ・ 電動ドリル  
 ※インパクトドライバーは金具の破損やユニットの破損につながるおそれがあるため、使用しないでください。⊘  
 ※方立高さが低い場合にはL型ドライバーを使用してください。
- ・ 手まわしドライバー      ・ ゴムハンマー
- ・ コンベックス等測定定規      ・ 水準器      ・ 下地探し器




L型ドライバー

してはいけません




# 安全上のご注意 (必ずお守りいただきたいこと)









この説明書に書かれた注意事項は、施工される人への危害や、お使いになる人への危害や物的破損を防ぐためのものです。必ずお守りください。


	<b>警告</b>	取扱いを誤った場合、施工者または使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
---	-----------	--



## ■警告図記号について

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	「してはいけない」を示します。
	「注意すること」を示します。
	「必ず行っていただくこと」を示します。

- ユニットの壁への固定は、600mmピッチ以下で指定の固定金具を取り付けてください。指定のピッチを守らない場合製品の転倒などにより重傷を負う可能性があります。 
- この説明書に記載の施工方法を守って施工してください。施工方法を守らない場合製品の転倒などにより重傷を負う可能性があります。 棧の接着には専用接着剤が必要です。 
- 施工の作業は、必ず2人以上で行ってください。1人での作業は事故の原因になります。 
- 引出・AVユニットの取り付けは、正しい位置に指定本数の固定ネジで確実に行ってください。(固定が不完全な場合、転倒や脱落等によりケガをするおそれがあります。) 
- 固定の際、必ず十分な下地に固定できるように下地の配慮をお願いします。  
→下地材の条件については、「施工前の準備 1 設置場所の下地の確認」をご覧ください。 
- 棚板に腰かけたり、登ったり体重をかけないでください。(落下、破損などを引き起こし重症を負う可能性があり大変危険です。) 
- 表記の耐荷重を超えるものを乗せないでください。脱落・破損し、ケガをするおそれがあります。(耐荷重はカタログおよび取扱説明書に表記しています。) 
- ビスの締め付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。(製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。) 

	<b>注意</b>	取扱を誤った場合、施工者または使用者が重傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される場合。
---	-----------	--

- 一般住宅用、公共・商業施設用の収納です。他の用途に使用しないでください。 
- 製品の改造はしないでください。製品の強度が失われる可能性があります。施工時に製品の形状を変えるような加工をされた場合は、品質保証責任を負いかねます。 

# 施工上のご注意

- 接着された棧は簡単には取れませんので、ご注意ください。
- 施工までの間、製品を立てかけたり、不安定な場所に置いたりしないでください。棚板や方立の反り、キズの原因になります。
- 施工時に棚板や方立に足をかけたり、乗ったりしないでください。
- 扉の吊り込み・受座の取り付けは確実に行ってください。



## 製品の保証について

製品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

### ■ 対象商品

フィットシェルフ

### ■ 保証事項

通常的环境下で、弊社の施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態(前提条件)で、弊社の責任に起因する製品不具合(保証期間参照)を無料で修理します。尚、本内容は日本国内においてのみ有効です。

### ■ 保証期間

製品施工完了後2年とさせていただきます。弊社製品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間経過後の修理については有料となります。

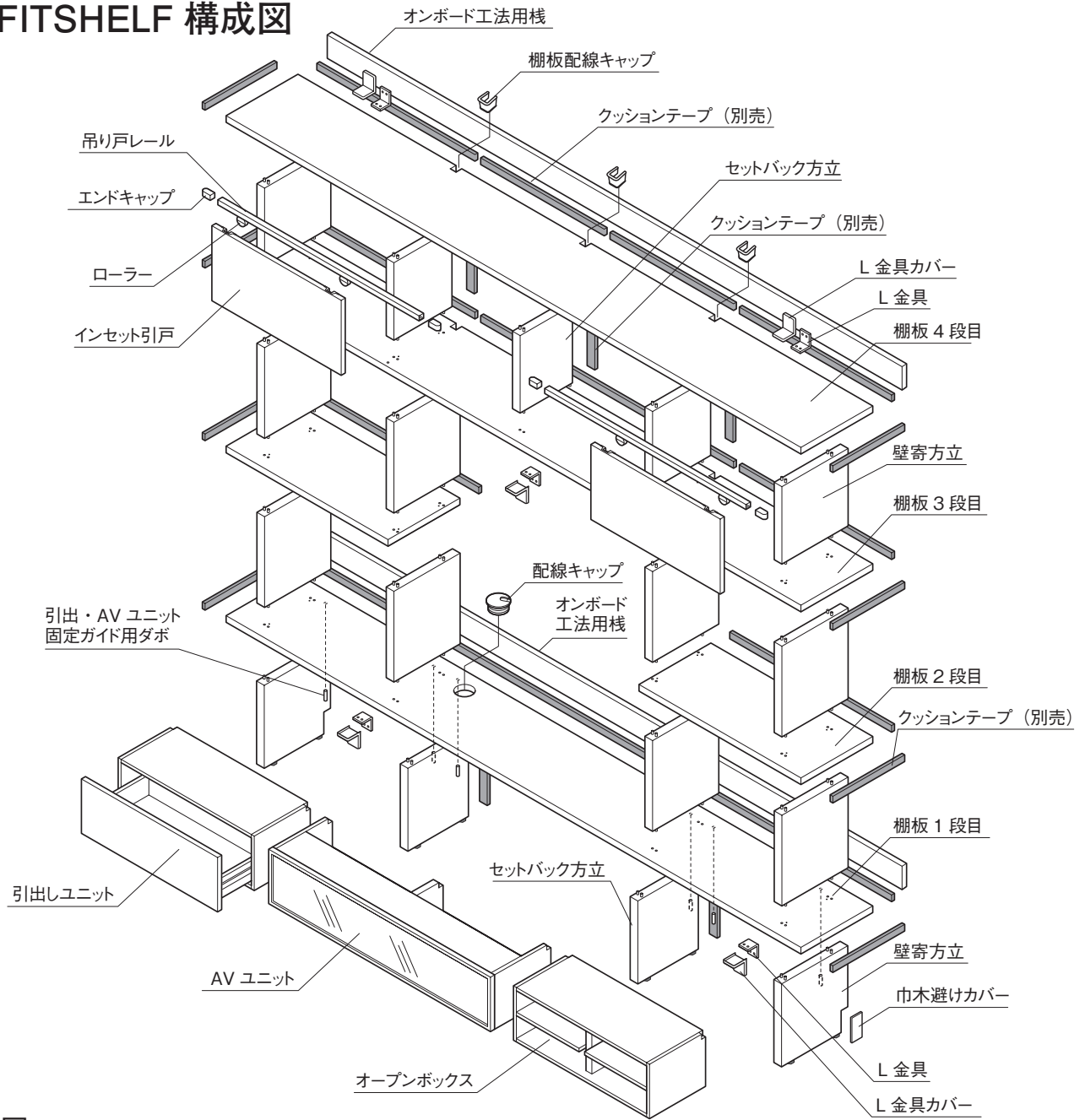
### ■ 製品の不具合原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。

- ①建物の設計・施工に起因する不具合
- ②施工説明書に記載された方法以外の施工内容に起因する不具合
- ③自然現象・周辺環境等(※1)の不可抗力に起因する結露、腐食、反り、割れ又はその他の不具合
- ④室内であっても部屋内外の温湿度差が著しく違う部位に取り付けられたことによる隙間・反り・キシミ音などの不具合。
- ⑤極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位に取り付けられたことに起因する不具合
- ⑥建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する不具合
- ⑦入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する不具合
- ⑧取扱説明書記載事項から逸脱した使用に伴う、消耗、磨耗、破損、変形などによる不具合
- ⑨経時変化による通常一般的な当該保証対象品の変褪色、汚れ、さび、かび、劣化磨耗などの不具合
- ⑩用途外に使用された場合の故障および損害  
(例えば、一般家庭用を業務用に、屋内用を屋外に使用された場合等)
- ⑪犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害に起因する不具合やキクイムシなどの虫害に起因する不具合
- ⑫仕上げ面のキズなどの不具合で引渡し時に申し入れがなかった場合
- ⑬保証期間経過後の申し出、または不具合発生後速やかに申し出がなかった場合
- ⑭製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する場合
- ⑮離島などの遠隔地へ出張を要する修理を行う場合、出張に要する実費
- ⑯その他当該不具合の発生が弊社の責によらない場合

※1：火災・地震・水害・落雷などの天災地変や、公害・塩害・ガス害や異常な高温・低温・多湿・過乾燥などの周辺環境

# 全体図

## FITSHELF 構成図



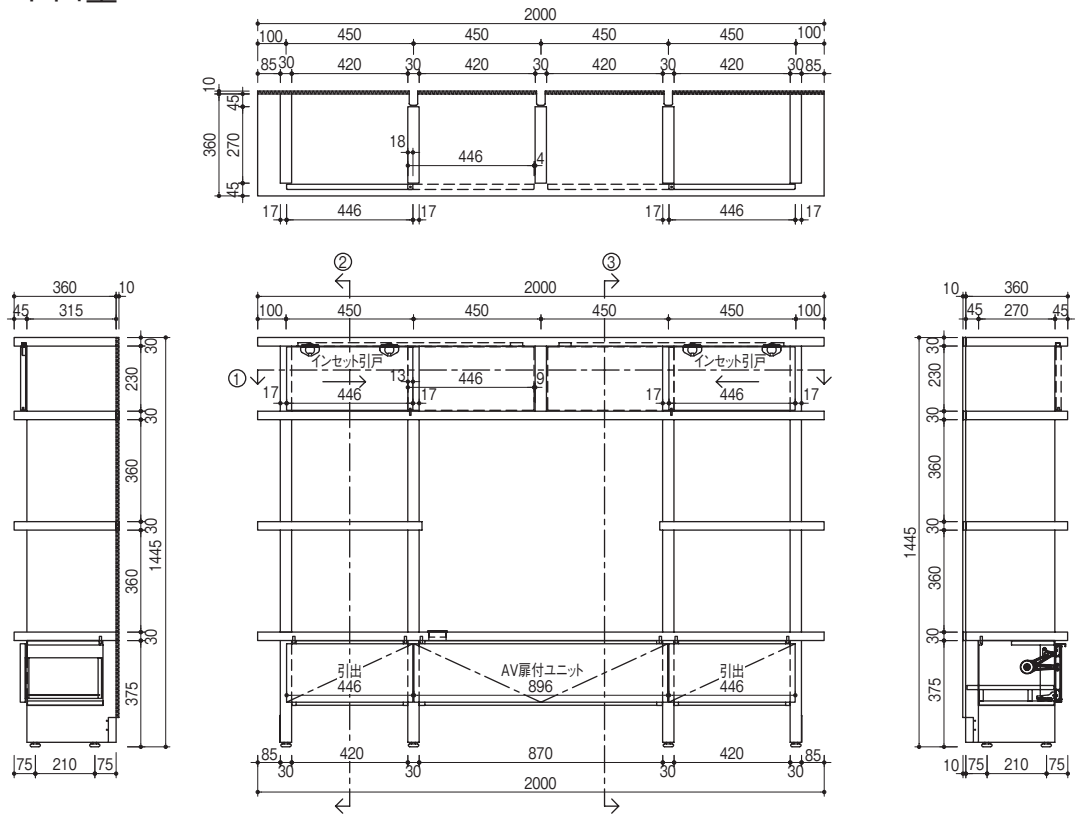
### 棚板加工図

<p><b>1 段目</b></p> <p>表側</p> <p>裏側</p> <p>配線キャップ取付け穴 (φ61)</p> <p>上段方立固定用ダボ穴</p> <p>下段方立固定用リード穴</p> <p>下段方立固定用ダボ穴</p>	<p><b>2 段目</b></p> <p>表側</p> <p>裏側</p> <p>上段方立固定用ダボ穴</p> <p>下段方立固定用リード穴</p> <p>下段方立固定用ダボ穴</p>
<p><b>3 段目</b></p> <p>表側</p> <p>裏側</p> <p>配線用穴加工 (30×40)</p> <p>上段方立固定用ダボ穴</p> <p>下段方立固定用リード穴</p> <p>インセット引戸用ガイドピン穴</p> <p>下段方立固定用ダボ穴</p>	<p><b>4 段目</b></p> <p>表側</p> <p>裏側</p> <p>下段方立用ダボ穴</p> <p>インセット引戸レール用溝</p>

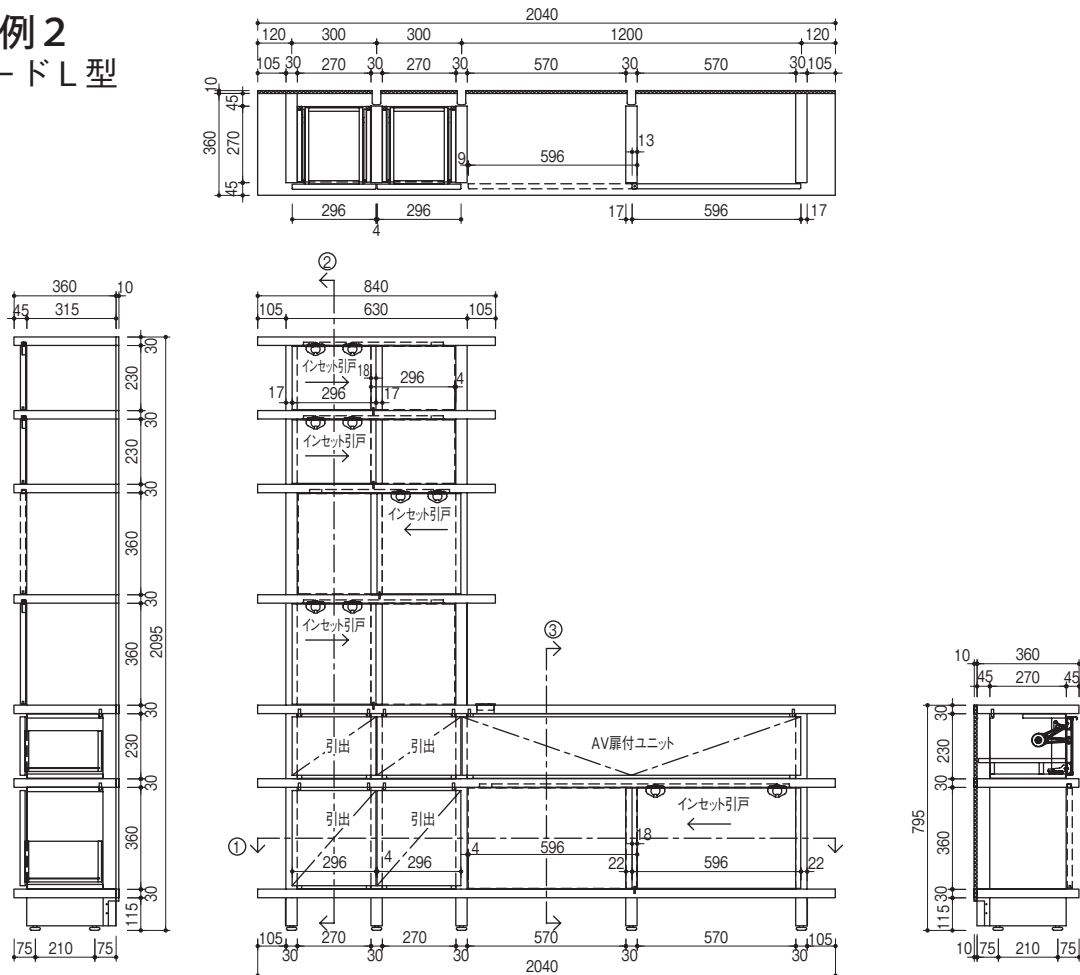
# 製品寸法図

※プランは例です

## ●プラン例1 テレビボード口型



## ●プラン例2 テレビボードL型



# 施工前の準備

## 1 設置場所の確認（オンボード工法）

### ⚠ 警告

壁面（石こうボード／コンクリート壁）の状況を確認

⚠ 施工する壁面の不陸が3mm以内であることを確認してください。  
不陸が大きいと、棧が接着できない場合があります。

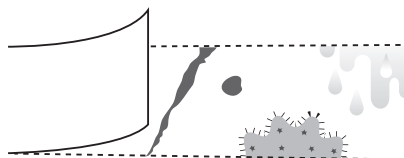
⚠ 下記に従って  
壁面（石こうボード／コンクリート壁）に  
問題がないことを確認してください。  
製品が転倒してしまう可能性があります。



「石膏ボード施工マニュアル」「石膏ボードハンドブック」（一般社団法人石膏ボード工業会発行）に従って石膏ボードが固定されていること。  
※石こうボードの固定が上記に従っていない場合、製品が転倒してしまう可能性があります。

〈石こうボードの場合〉

- ・ 棧を取り付ける場所に割れ、ひび、穴、凹凸がないこと。
  - ・ クロスを剥がした場所から粉がぼろぼろ落ちてくるような状態でないこと。
  - ・ 石こうボードのぬれ、カビがないこと。
- 水廻りの近くに設置する場合は特に注意して確認を行ってください。



〈コンクリート壁の場合〉

- ・ 棧を取り付ける場所に割れ、ひび、穴、凹凸がないこと。

### ⚠ 注意

設置場所の壁、床の水平、垂直を確認してください。⚠  
製品のゆがみや隙間が生じる可能性があります。必ず行う

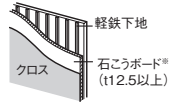
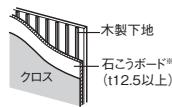

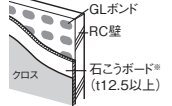
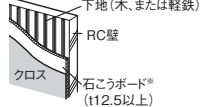
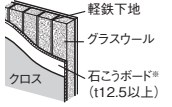
設置場所の壁下地および床が下記の条件に  
適合しているかを確認してください。

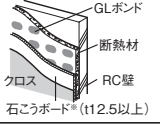

### ⚠ 注意

フィットシェルフは、クロスなどの壁仕上げ後に設置する製品となります。  
施工の際は、クロス、壁仕上材に傷を付けないようご注意ください。

### ⚠ 注意

天井と最上段の棚板とは300mm以上の隙間が必要です。設置場所の天井高をご確認ください。

壁種類	下地種類	施工可否
間仕切壁	軽鉄製下地 	○
	木製下地 	○
戸境壁 (界壁)	RCクロス直張壁 	○
	RC+GL壁 	○
	RC壁 +木製・軽鉄下地 	○
	軽鉄下地 組乾式壁 	○

壁種類	下地種類	施工可否
外壁	RC壁+GL壁 	○
	RC壁 +木製・軽鉄下地 	○

※化粧石膏ボード、塗り壁(珪藻土、土壁)および、タイル、RC壁、石膏ボード壁の表面が塗装されている場合は施工できません。

確実に接着できないため、製品が転倒する可能性があります。

床下地材の条件		施工可否
在来	木質フロア	○
	タイル	○
	クッションフロア	×
	カーペット	×
	畳	×
二重床		○
直張床		○

# 2 部材の確認

- ・部材についているパーツNo.シールとプランパーツ図を照らしあわせて、過不足がないか確認して下さい。
- ・製品の組み立ては、プランパーツ図に従って部材を配置して下さい。



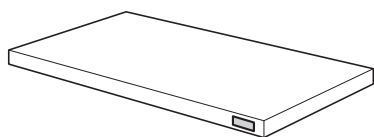
パーツNo.	品名	数量	パーツNo.	品名	数量
SP0181	棚板	1	HT	方立	1
SP0182	棚板	1	HT	方立	1
SP0183	棚板	1	HT	方立	1
SP0184	棚板	1	HT	方立	1
SP0185	棚板	1	HT	方立	1
SP0186	棚板	1	HT	方立	1
SP0187	棚板	1	HT	方立	1
SP0188	棚板	1	HT	方立	1
SP0189	棚板	1	HT	方立	1
SP0190	棚板	1	HT	方立	1
SP0191	棚板	1	HT	方立	1
SP0192	棚板	1	HT	方立	1
SP0193	棚板	1	HT	方立	1
SP0194	棚板	1	HT	方立	1
SP0195	棚板	1	HT	方立	1
SP0196	棚板	1	HT	方立	1
SP0197	棚板	1	HT	方立	1
SP0198	棚板	1	HT	方立	1
SP0199	棚板	1	HT	方立	1
SP0200	棚板	1	HT	方立	1

プランパーツ図  
棚板・方立

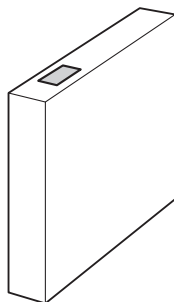
パーツNo.	品名	数量	パーツNo.	品名	数量
SP0201	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0202	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0203	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0204	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0205	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0206	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0207	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0208	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0209	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0210	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0211	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0212	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0213	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0214	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0215	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0216	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0217	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0218	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0219	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1
SP0220	オプションパーツ	1	AO	オプションパーツ	1

プランパーツ図  
オプションパーツ

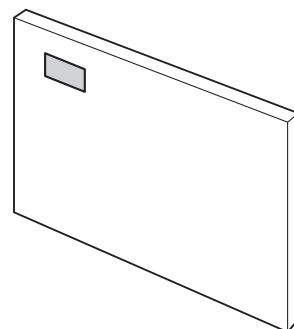
- ・各部材には、パーツNo.シールがはりつけてあります。



棚板…手前右側木口面



方立…上木口面



インセット引戸・引出・AVユニット…正面左上

## パーツNo.シール(例)

プランNo.



パーツNo.

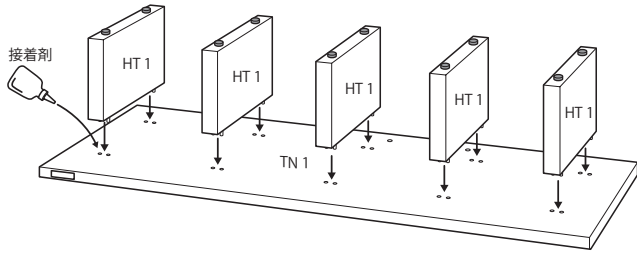
<パーツ名と記号>

- 棚板 TN
- 棚板接続キャップ TC
- 方立 HT
- AVユニット扉付 AT
- AVユニットオープンタイプ AO
- 引出 HD
- インセット引戸 IH
- インセットレールセット IR
- オープンユニット OP
- オンボード工法用棧 OS
- 自在棚 JT

# 施工の流れ

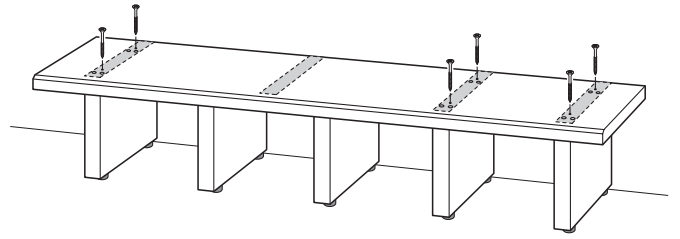
## 1 棚の組み立て

1段目の棚板に方立を取り付け



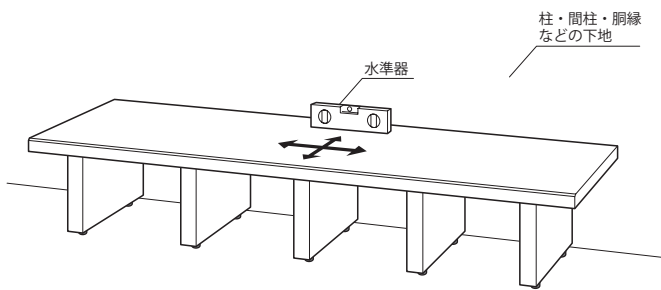
## 2 棚板のビス固定

リード穴がある場所での方立のビス固定



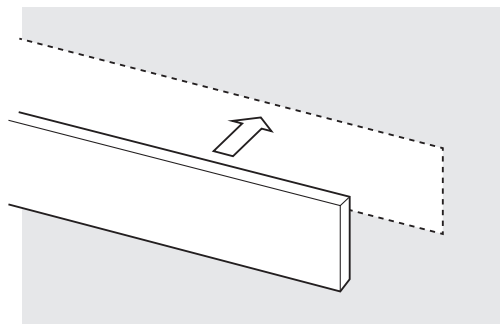
## 3 棚の設置

棚板の水平の確認



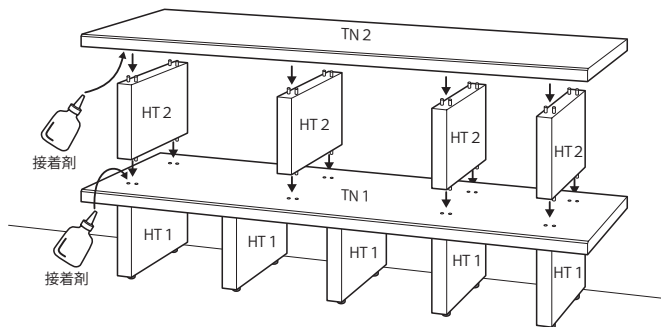
## 4 棧の接着(1段目)

位置出しを行い、棧を接着



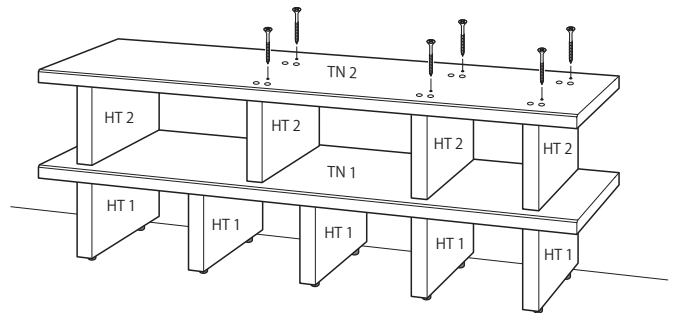
## 5 2段目の方立と棚板の取り付け

1段目の棚板の上の方立と棚板を取り付け



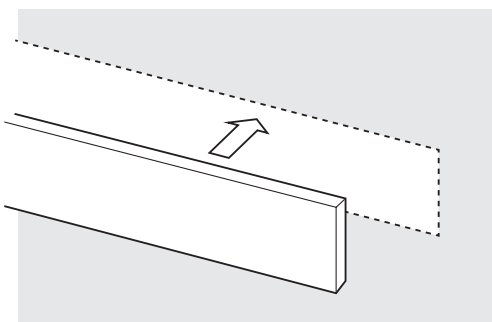
## 6 棚板のビス固定

リード穴がある場所での方立のビス固定  
(3段目以上は同じ手順)



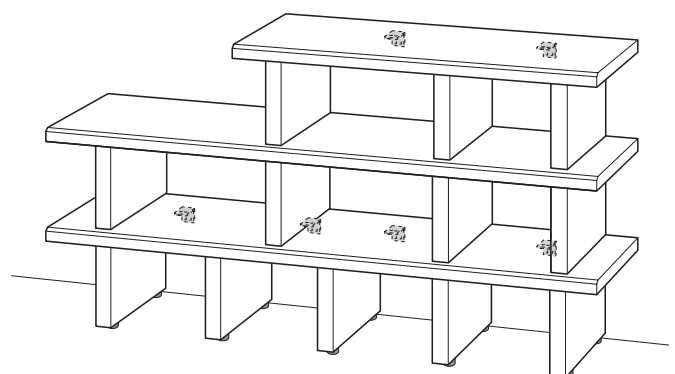
## 7 棧の接着(上段)

位置出しを行い、棧を接着



## 8 壁への固定

壁固定金具で本体を壁面に固定



# 1 棧の接着

用意する部材



■DS接着剤(専用接着剤)  
内容量333mL  
棧6mあたり1本必要です。

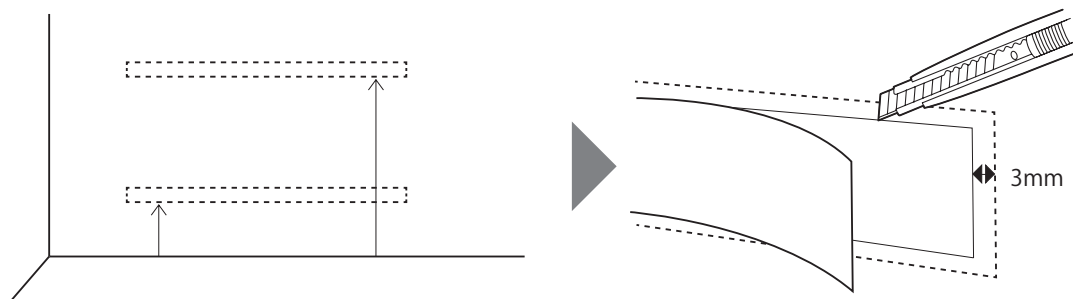
## ⚠警告

必ず専用接着剤をお使いください。  
専用接着剤以外の接着剤を使うと、  
強度が低下し製品の落下、  
破損の可能性があります。

■オンボード工法用棧(18×50×~2400mm) 1本/1梱包

## 1 クロスを剥がす

製品に同梱の図面、または、プランニングソフトにより取り出した図面  
(弊社営業窓口にご相談ください) に従い棧の位置出しを行います。  
棧の周囲より、3mm程度内側のクロスを剥がします。

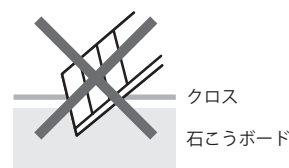


## ⚠注意

クロスがしっかりはがされていることを確認してください。  
クロスが残っていると強度が低下する可能性があります。

## ⚠注意

下地を傷付けないよう十分に注意して行ってください。  
石こうボードの表面紙が切れたり、石こうボードに傷が付いた場合、  
強度が低下する可能性があります。

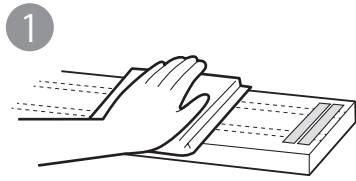


## ⚠注意

棧は一度接着すると簡単には取れません。位置出しは正確に行ってください。

## 2 棧の接着

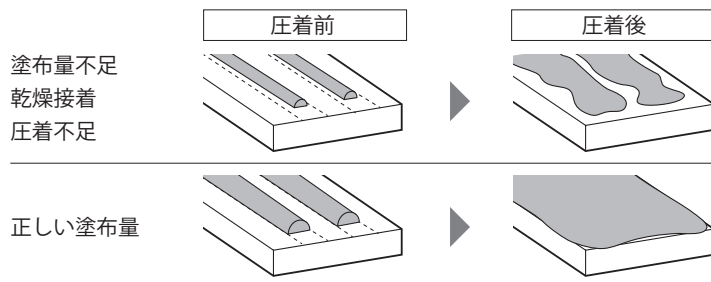
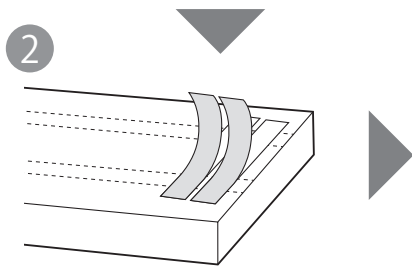
接着する壁面および棧のゴミやほこりを除去します。両面テープのはくり紙をはがしてから、棧に専用接着剤を塗布します。ガイドラインに添ってラインが隠れるまで5mm以上のビード状（線状）に2回塗布します。



### ⚠ 注意

接着剤の塗布はビード径5mm以上としてください。

塗布量不足、乾燥接着、圧着不足により、棧全体に接着剤が広がらない状態となります。

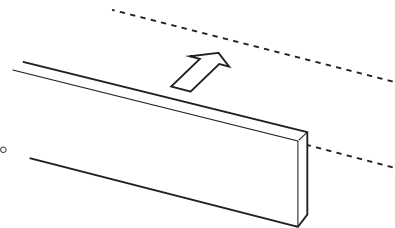


クロスを剥がした部分に、棧を接着します。  
(施工可能温度 5°C~35°C)

貼り合わせが可能な時間は

室温 23°C: 約 10 分、夏場 30°C: 約 5 分です。

この時間内に貼り合わせてください。



夏場: 5分以内

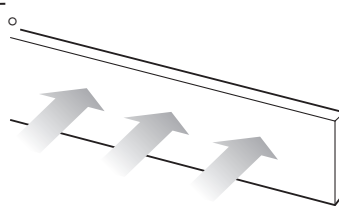
### ⚠ 注意

この時間を過ぎると、接着不良になり、製品の落下、破損の恐れがあります。

接着後、棧全体にしっかり圧力をかけます。  
1時間以上養生させてから、収納を固定します。

### ⚠ 注意

棧にビス、釘、タッカーは打たないようにしてください。  
接着力不足により、転倒するおそれがあります。



### ⚠ 注意

接着後スグは強度が充分ではありません。  
必ず 1 時間以上養生させてください。



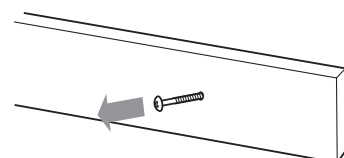
1時間以上  
養生

### ⚠ 注意

棧が複数ある場合、1本ずつ接着剤を塗布し、接着してください。一度に接着剤を塗布すると、乾燥接着になるおそれがあります。手に接着剤が付かない状態では、乾燥接着になります。その場合は新しい棧を使用し、再度塗布して施工してください。

## 3 接着の確認

養生の後、棧が壁にしっかり固定されているか確認してから収納を取り付けてください。



# 1 段目の棚の組み立て

用意する部材

TN



HT1







施工部材セット

※施工部材セットは複数梱包に分かれている場合があります。


## ◆組み立て上のご注意

- ・組み立ては2人作業で行ってください。  必ず行う
- ・組み立ての前に周辺を養生してください。組み立ての際に棚板に方立をたたき込むことがあるため、階下に音が響かないようにコンパネ等で十分に養生を行って下さい。  必ず行う


## ■棚板 D250/D360

		種類	棚板	仕様
棚板			1入	t30
同梱部品	部品箱	ボックス取付けガイド用ダボ 	棚板下部のボックス数×2	木ダボφ8×25
		方立(棚板下面)連結ビス 	連結数×2	φ3.8×51
		方立(棚板上面)連結ビス 	連結数×2	φ3.8×51
		方立(棚板上面)連結キャップ 	棚板下部ユニットなし:連結数×2 棚板下部ユニットあり:0	ビス穴隠しキャップ 棚板同色
		棚板長尺接続納め目地キャップ	1/1継ぎ部	ABS
	最下段 棚板	施工説明書	1/1プラン	



## ■方立 壁付けタイプ用

		種類	下部		上部		仕様
			壁寄せ	セットバック	壁寄せ	セットバック	
方立			1/2/3/4入				t30
同梱部品	巾木避けカバー 	方立1本につき 1set同梱	-	-	-	-	ブラック/ホワイト 1set (L用:1枚,R用:1枚)


## ■方立 間仕切タイプ用

		種類	下部	上部	仕様
方立				1/2/3/4入	
同梱部品	巾木避けカバー 	方立1本につき 1set同梱	-	-	ブラック/ホワイト 1set (L用:1枚,R用:1枚)

## ■施工部材セット

		幅900用	幅1600用	幅2400用	仕様
同梱部品	棚板金具 	6	9	15	L型補強金具(ユニクロ) カバー(ホワイト/ブラック)
	棚板金具固定用ビス 	12	18	30	(壁固定用)なベスレッドφ4×16
		12	18	30	(棚板固定用)なベタッピンφ4×16
	接着剤	2	3	3	酢ビ系 20g
	アジャスター調整用スパナ 	1	1	1	M8用

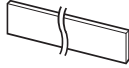
## ■クッション材

		種類	棚板・方立用	仕様
同梱部品	クッション材 		2	発泡PE(両面テープ付) t10×30×2000

## ■DS 接着剤 (専用接着剤)

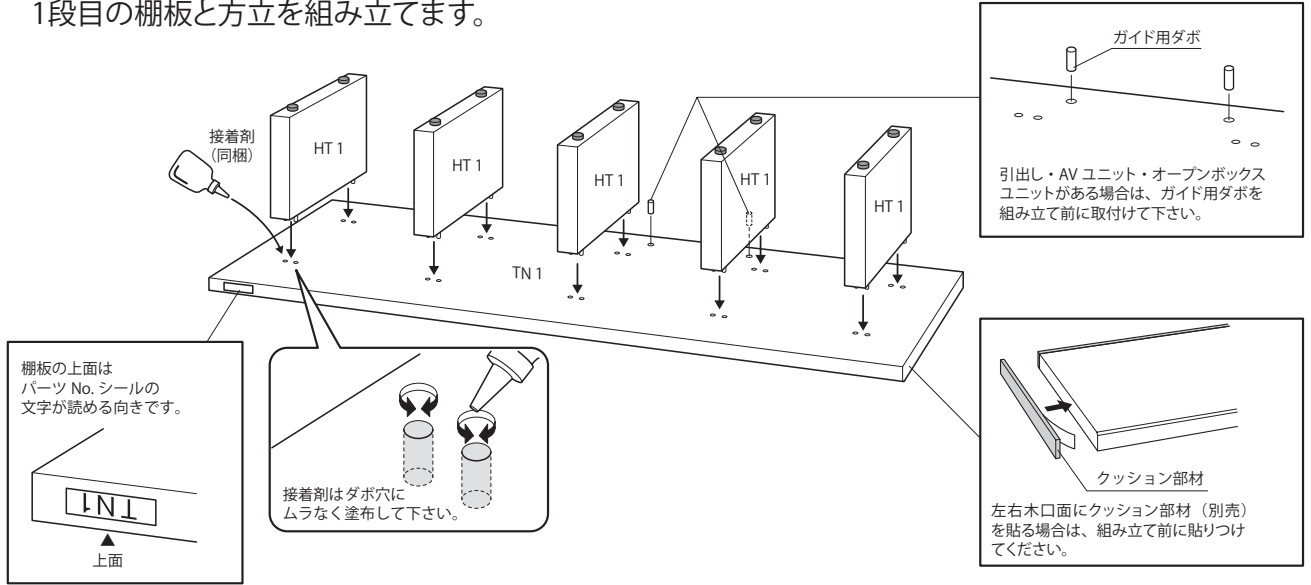
	DS接着剤(専用接着剤) 	1	オンボード工法用 333mL(変性シリコン系)
--	--	---	-------------------------

## ■オンボード工法用棧 (18×50×~2400mm)

	オンボード工法用棧 	1	
--	---	---	--

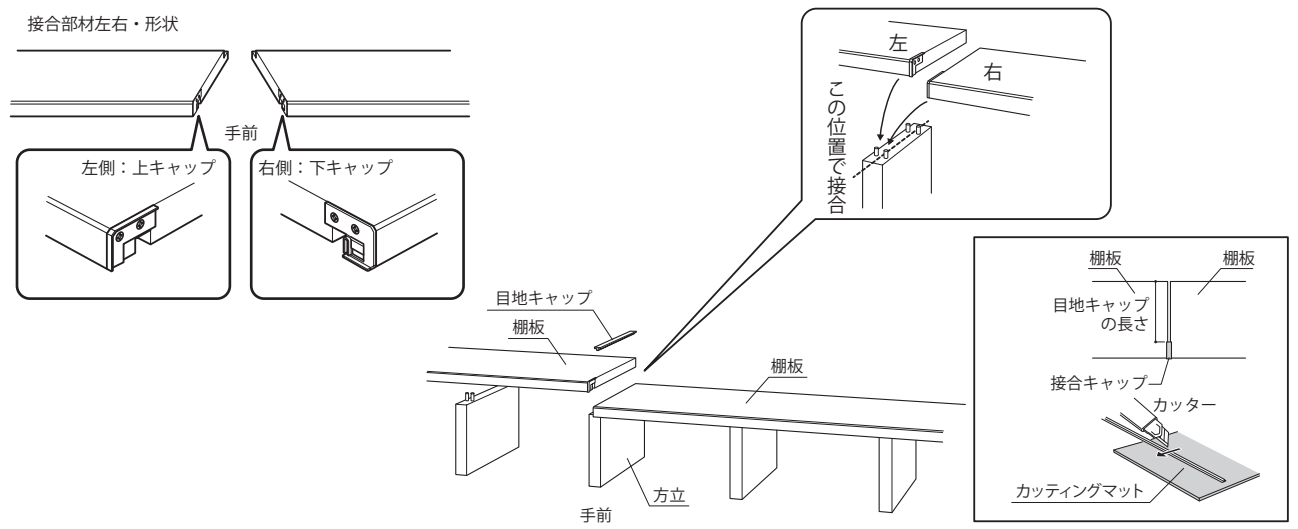
# 1 棚の組み立て

はじめに、施工部材セットを開梱ください。接着剤、施工金具類が入っています。  
1段目の棚板と方立を組み立てます。



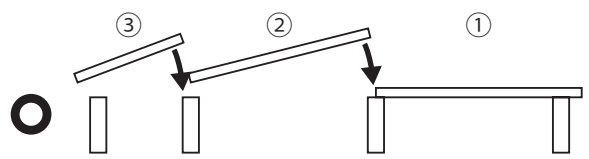
## W2400以上のプランの場合

2枚以上の棚板を方立の上で接合します。接合部材には、左右がありますので棚板の正面・パーツNo.を確認してから作業を行って下さい。棚板の奥行きに合わせて目地キャップをカットし取り付けて下さい。勘合がゆるい場合は変性酢ビ系の接着剤(現場手配)で接着して下さい。

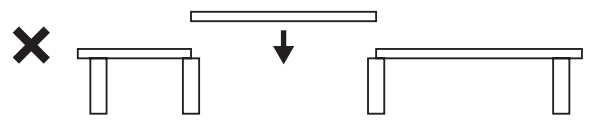


### ◆ 施工上のご注意

必ず向かって右側の棚板から順に取り付けを行って下さい。 必ず行う

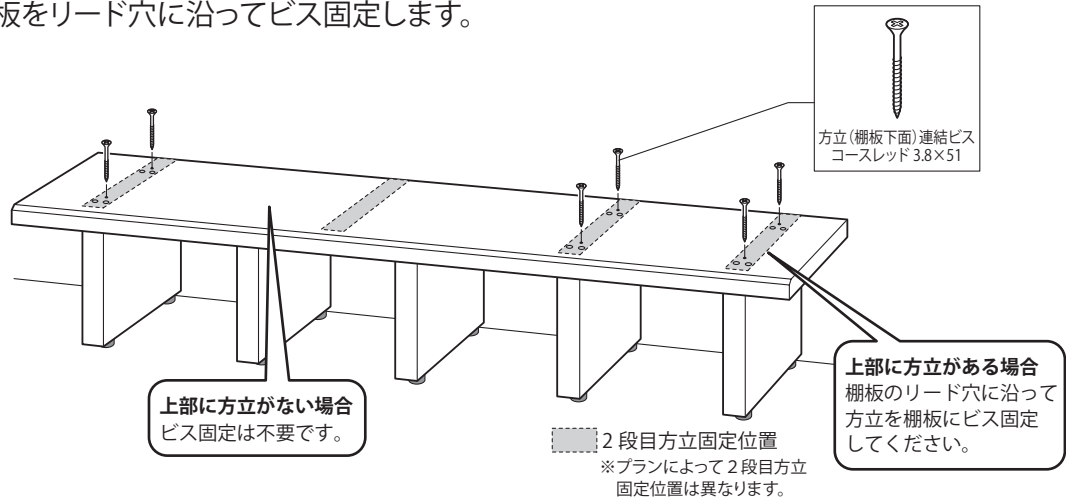


このような順番での取り付けはできません。 してはいけません



## 2 棚板のビス固定

方立と棚板をリード穴に沿ってビス固定します。



## 3 棚の設置

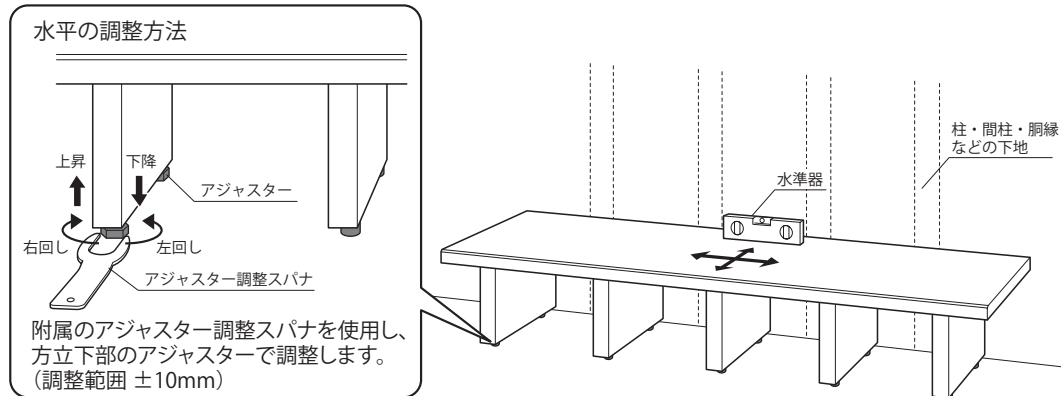
棚板を設置し、水準器で棚の左右・手前奥の水平を確かめます。

### ◆ 施工上のご注意

必ず水平を調整してから2 段目以降の組み立てを行ってください。  
水平でないのがたつきなどの不具合が生じます。



必ず行う

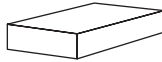


# 2 段目以降の棚の組み立て

用意する部材

TN 2 ~

HT 2 ~

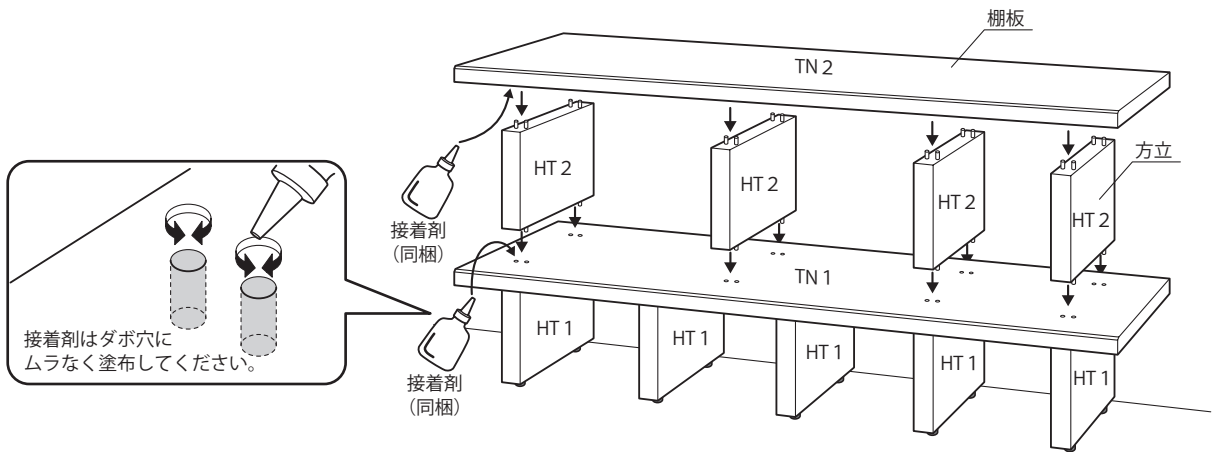


施工部材セット

※施工部材セットは複数梱包に分かれている場合があります。

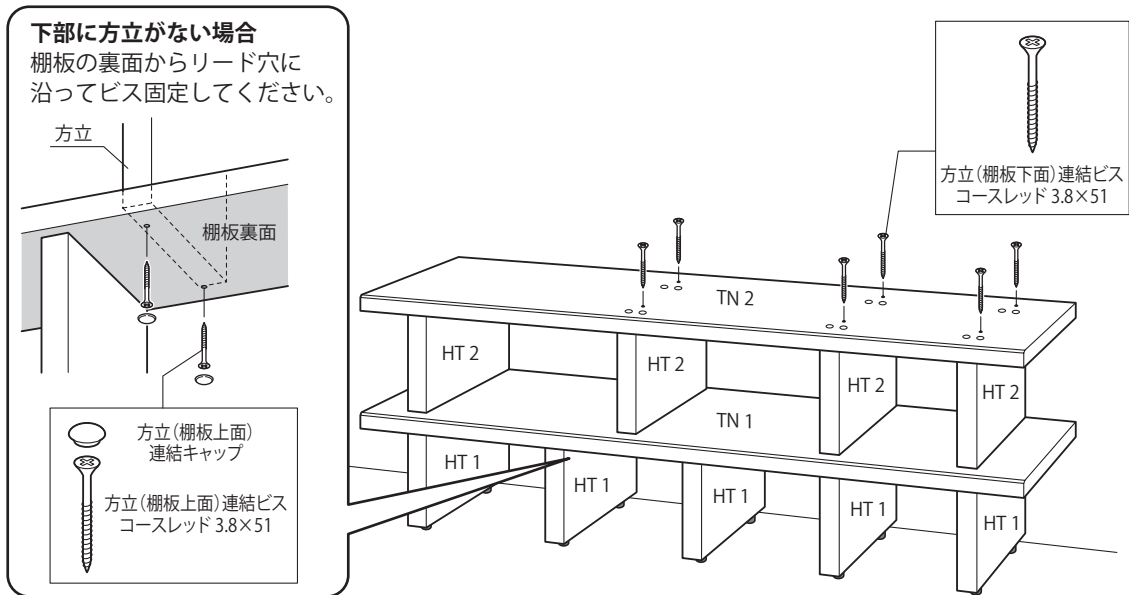
## 1 方立・棚板の取り付け

1段目の棚板の上に方立と棚板を組み立てます。



## 2 棚板のビス固定

方立と棚板をリード穴に沿ってビス固定します。



3段以上ある場合は同じ手順で組み立ててください

# 壁面への固定 (オンボード工法)

※プランは例です

## 1 壁固定金具の取付け

最上段の棚板と最下段の棚板にそれぞれオンボード工法用棧を取り付け、L金具を@600以下で取り付けます。(棧サイズ:18×50×~2400mm)  
棚板段数は6段以下かつ最上段~最下段の高さ寸法差は1800mm未満としてください。

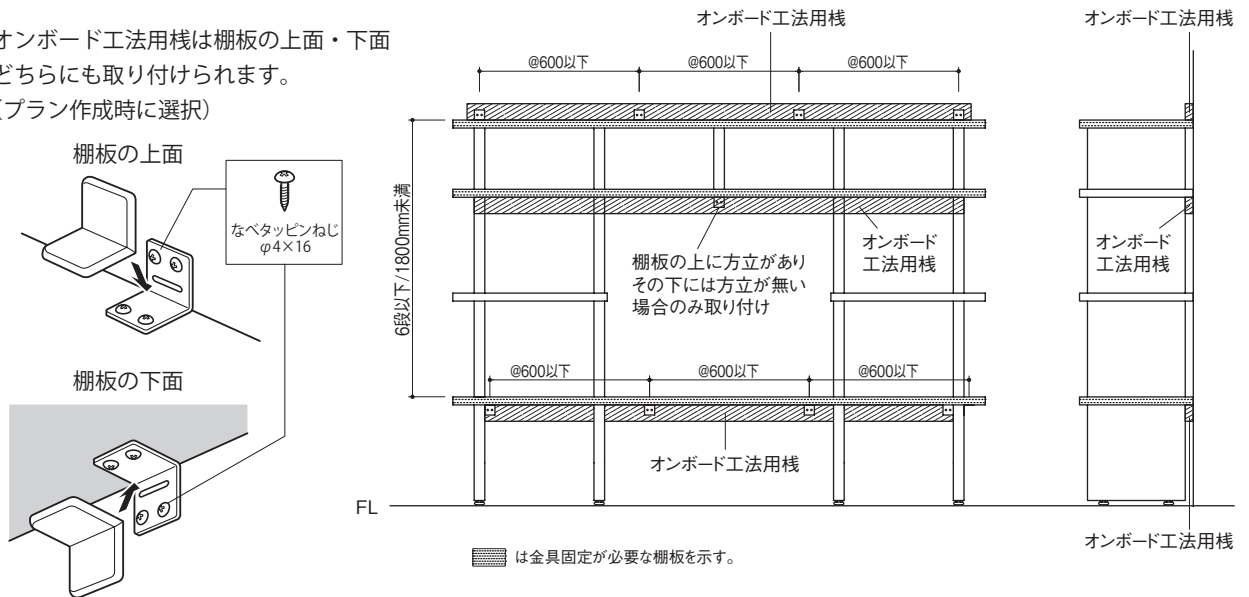
! 必ず行う

棚板の上に方立がありその下には方立が無い箇所には、その棚板の下部にL金具を取り付け、壁に固定します。

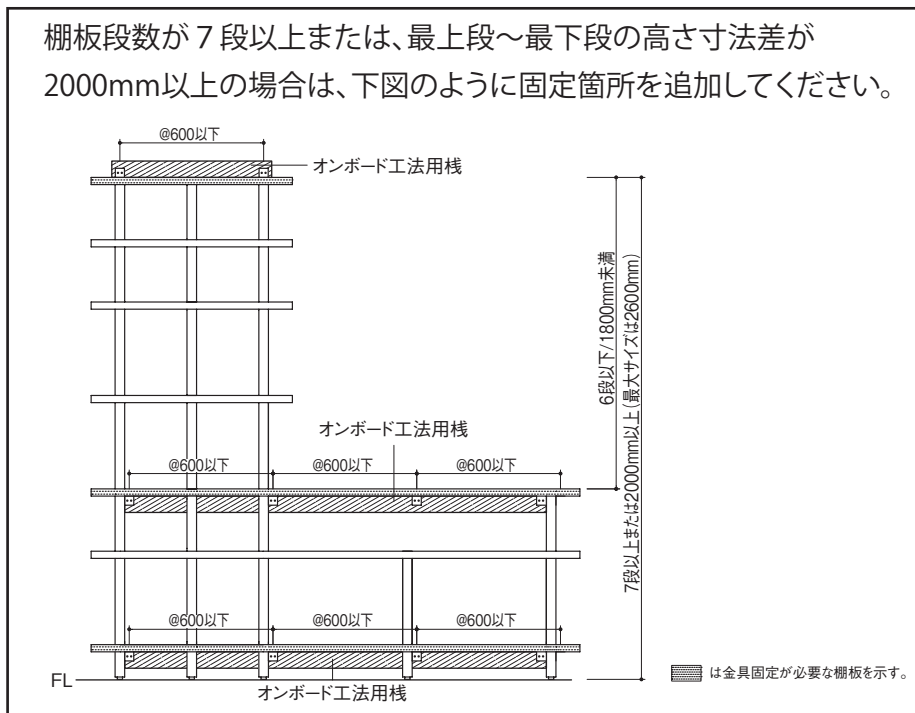
! 必ず行う

オンボード工法用棧は棚板の上面・下面  
どちらにも取り付けられます。

(プラン作成時に選択)



棚板段数が7段以上または、最上段~最下段の高さ寸法差が2000mm以上の場合は、下図のように固定箇所を追加してください。



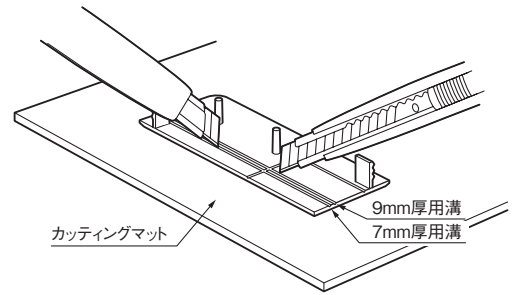
### 警告

- ユニットの固定は、正しい位置に指定本数の壁固定ネジで確実に行ってください。

! 必ず行う

## 2 巾木避けカバーの取り付け（最下段方立）

巾木避けカバーを下の要領でカットし、方立に取り付けます。



	巾木あり	巾木なし
ユニット外配線なし		
ユニット外配線あり		

# インセット引戸の取り付け

用意する部材






IH

IR

## ■インセット引戸 扉

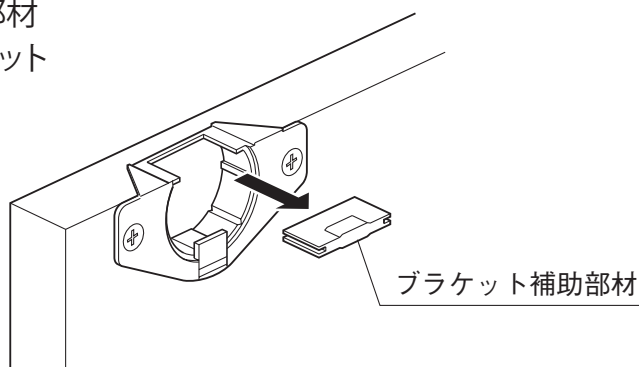
	方立間	W300/W450/W600	仕様
	種類	扉	
インセット引戸 扉		1	
同梱部品	ガイドピン	1	φ5×25

## ■インセット引戸 上レール

	長さ種類	408	708	1008	仕様
		レール			
インセット引戸 上レール		1			
同梱部品	上レール用ビス		6		皿タッピンねじφ3×16
	エンドキャップ		2		
	エンドキャップ用ビス(レール側)		2		皿タッピンねじφ3×16
	エンドキャップ用ビス(端部側)		2		皿タッピンねじφ3×20
	吊車		2		

## 1 ローラーブラケット補助部材の取り外し

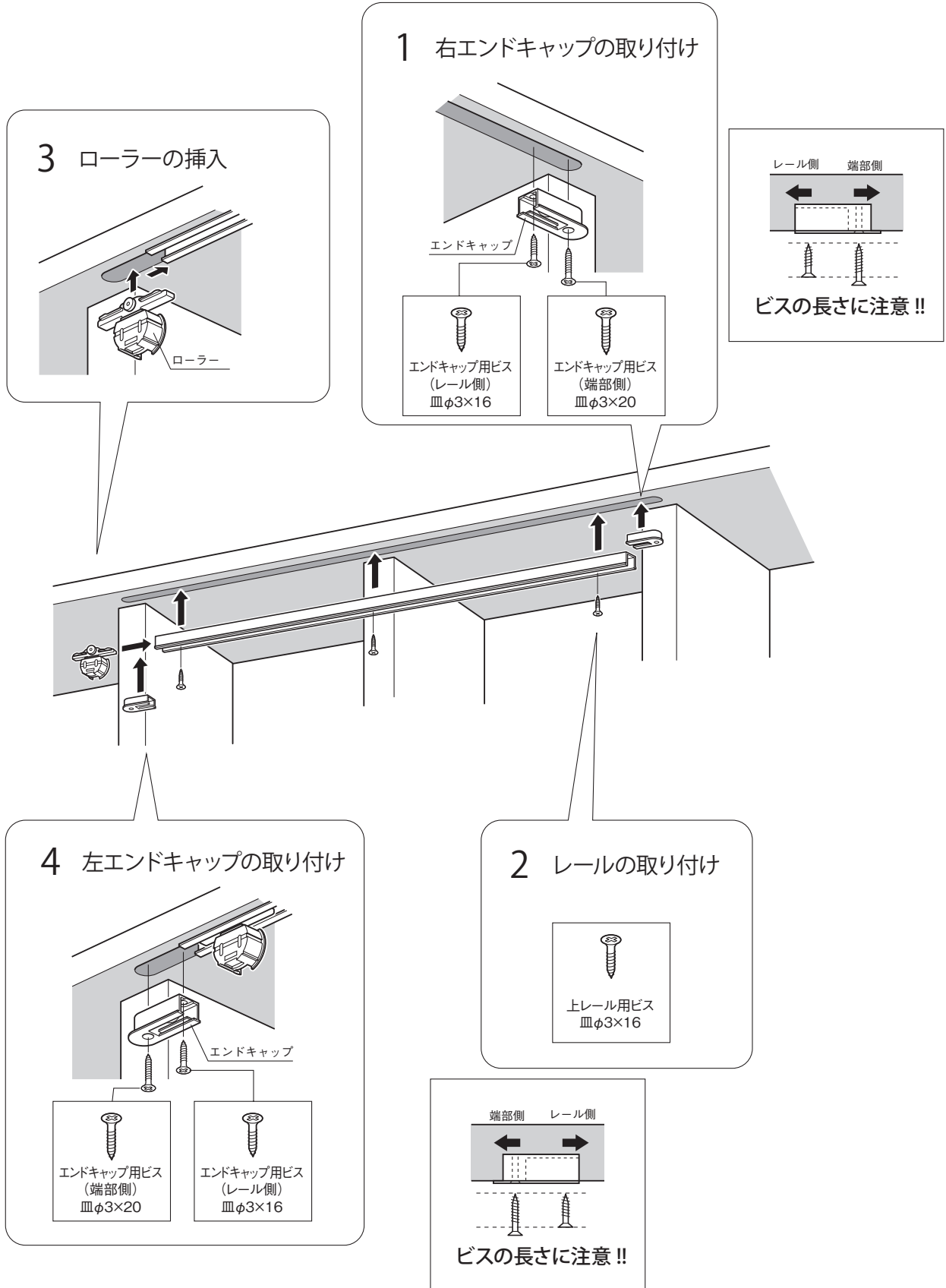
ローラーブラケットからブラケット補助部材を外します。補助部材は、ローラーブラケット装着後は不要になります。



## 2 レール・上部ローラーの取り付け

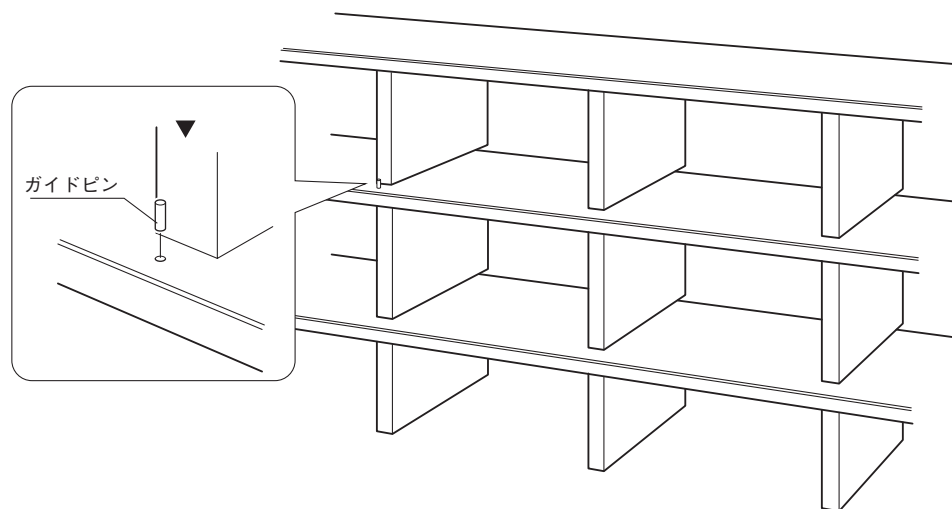
棚板加工の端部にエンドキャップを取り付けてから  
レールを取り付けます。

上部ローラーをレールの中に挿入し、もう一方の端部  
にエンドキャップを取り付けます。



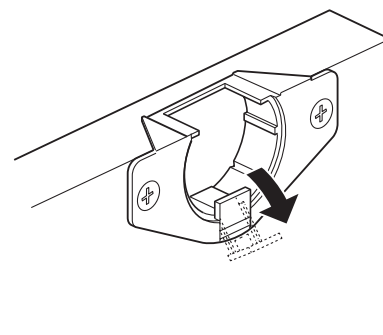
### 3 ガイドピンの取り付け

棚板の加工部にガイドピンを差し込みます。



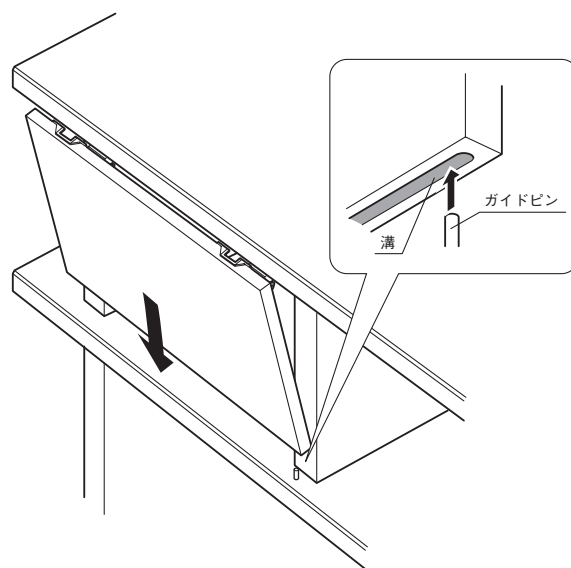
### 4 扉の吊り込み①

ローラーブラケットのセーフティーロックを解除します。



### 5 扉の吊り込み②

扉の下部溝をガイドピンに差し込みます。

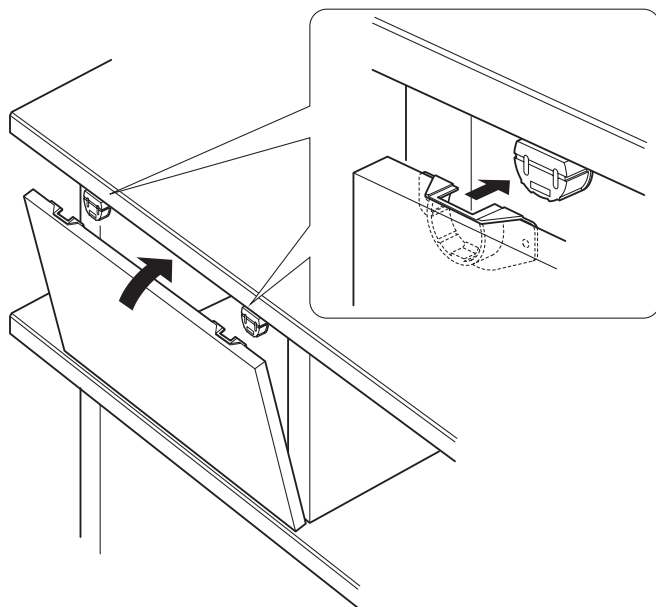


## 6 扉の吊り込み③

上部ランナーをローラーブラケットの中におさめます。

### ◆施工上のご注意

パチッと音がするまで確実に押し込んでください。



## 7 扉の吊り込み④

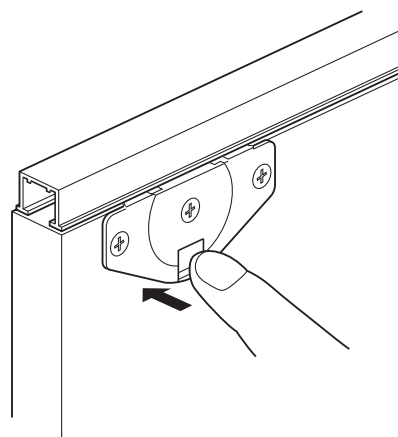
最後にセーフティーロックを押し込んでロックします。

### ⚠警告

最後にローラーブラケットのセーフティーロックを必ずかけてください。

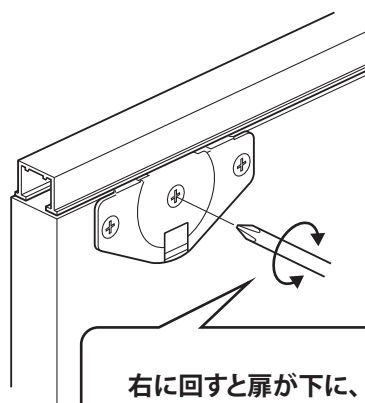
ロックをかけ忘れますと、扉が外れるおそれがあります。❗

必ず行う



## 8 扉の高さ調整

調整操作は扉を吊ったままの状態で行えます。  
プラスドライバーで調整ねじを回すと、扉が上下に移動します。  
(出荷時の状態より、下に4mm調整できます。)



右に回すと扉が下に、  
左に回すと扉が上に  
移動します。

# 引出しの取り付け

用意する部材

**HD**

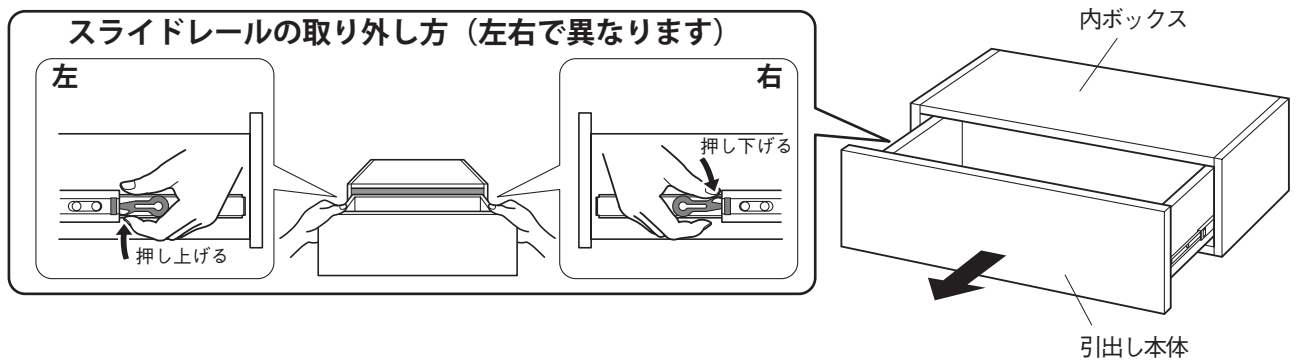
(引出し)

■引出しW300／W450／W600 (引出し前扉・引出し内ボックス・引出し本体 組み立て完成品)

		幅 種類	W300	W450	W600	仕様
			引出し			
引出し前扉			1			
引出し内ボックス			1			
引出し本体			1			
同梱 部品	方立 固定用 (H230) (H360)	連結ビス 	10			φ3.8×32
		連結ワッシャー 	10			φ4用
		連結キャップ 	10			ブラック／ホワイト
	方立固定用(H100)	ビス 	4			トラス4×30(H100)

## 1 取り付け準備

引出し本体(組み立て完成品)を内ボックスから取り外します。

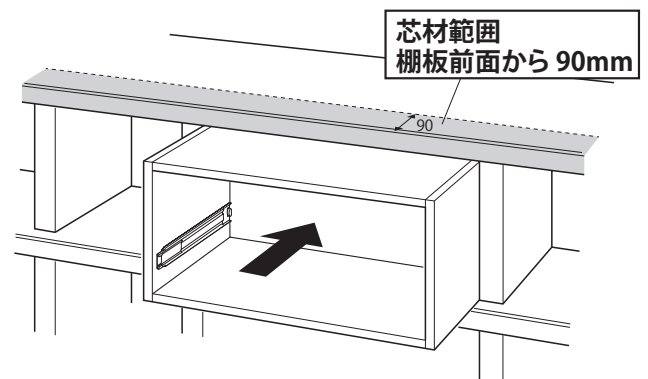


## 2 内ボックスの設置

内ボックスをプランパーツ図に従って所定位置に設置します。

### ◆施工上のご注意

棚板はフラッシュパネルを使用しています。ボックス設置の際にクランプ等の持具を使用する場合、必ず芯材のある位置にかかるとともに、当て板をしてください。



### 3 内ボックスの取り付け

ボックスを方立に固定します。

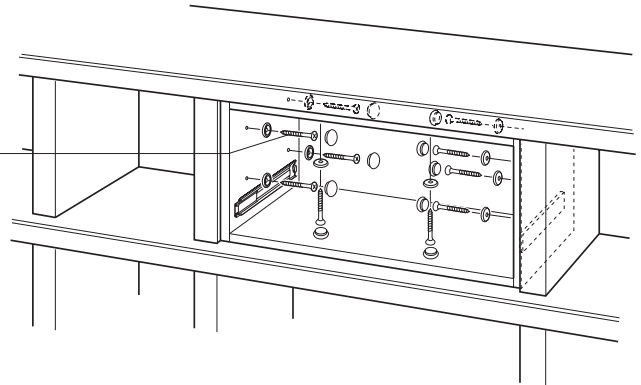
#### ◆施工上のご注意

不具合防止のため、  
レールを養生してから  
取り付けを行ってください。

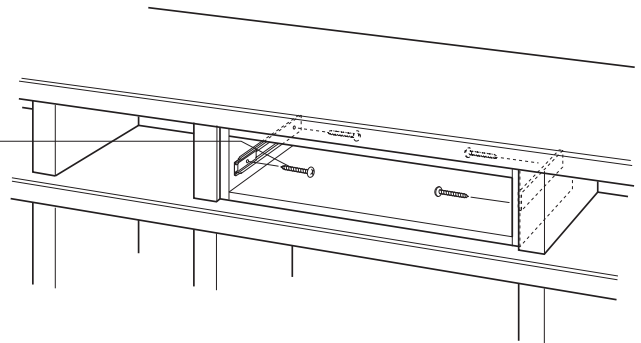
※ボックス高さが低い場合には  
L型ドライバーなどを使用してください。



L型ドライバー

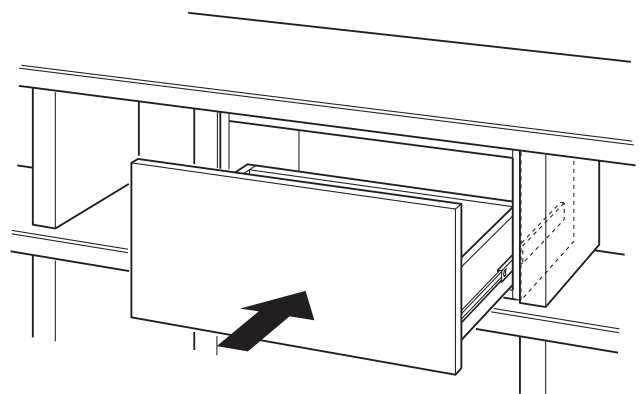


ボックスの高さが100mm以下の場合、同梱のトラスφ4×30ビスを使い  
ボックスに取り付け済のレールよりリード穴のある場所にビス止めし  
ボックスを固定してください。



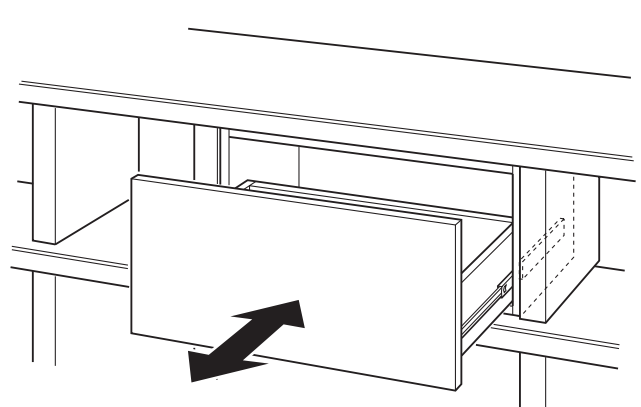
### 4 引出し本体の取り付け

引出し本体を内ボックスの  
レールに差し込みます。



### 5 引出しの動作確認

引出し本体を2～3回開閉し、動作確認  
を行ってください。



# AVユニット（扉付きタイプ） の取り付け

用意する部材

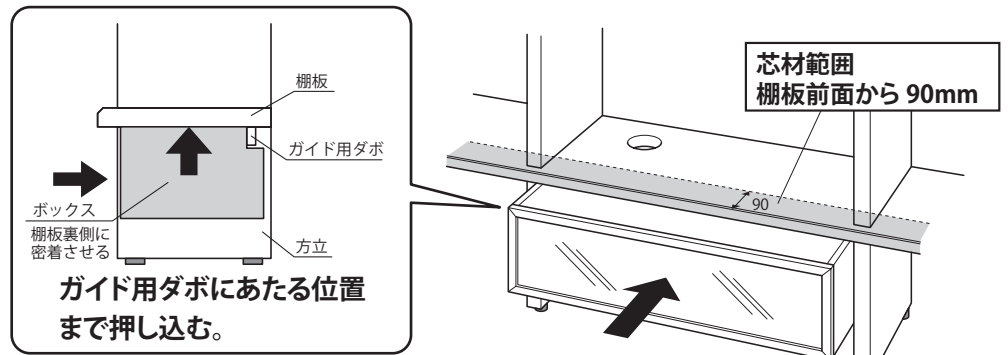
AO

■AVユニット扉付W900/W1200（AVフラップ扉・AVユニット本体 組立完成品）

幅種類		W900/W1200 AVユニット扉付	仕様	
AVフラップ扉		1	生ガラス飛散防止スモークフィルム貼り	
AV扉ユニット本体		1		
同梱 部品	配線キャップ	1	φ60用 シルバー色	
	ステー速度調整用レンチ	1	六角レンチ4mm用	
	クリアバンポン	2		
	方立 固定用	連結ビス	10	φ3.8×32
		連結ワッシャー	10	φ4用
		連結キャップ	10	ブラック/ホワイト

## 1 ボックスの設置

ボックスを所定  
位置に設置します。



### ◆施工上のご注意

棚板はフラッシュパネルを使用しています。

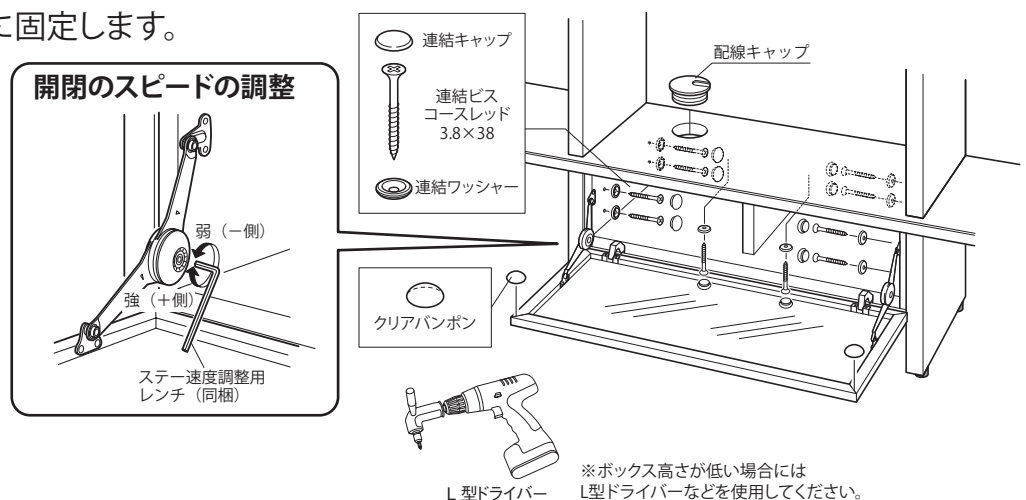
ボックス設置の際にクランプ等の持具を使用する場合、必ず芯材のある位置にかかるとように、当て板をしてください。



必ず行う

## 2 ボックスの取り付け

ボックスを方立に固定します。







# AVユニット（オープンタイプ） の取り付け

用意する部材

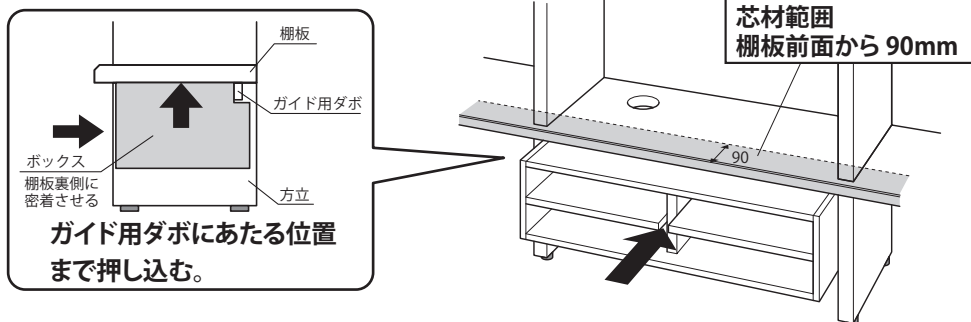
AO

■AVユニットオープンタイプW900/W1200（AVユニットオープンタイプ 組立完成品）

		幅 種類	W900/W1200 AVユニットオープンタイプ	仕様	
AVユニットオープンタイプ			1		
同梱 部品	配線キャップ		1	φ60用 シルバー色	
	方立 固定 用	連結ビス		10	φ3.8×32
		連結ワッシャー		10	φ4用
		連結キャップ		10	ブラック/ホワイト

## 1 ボックスの設置

ボックスを所定位置に設置します。



### ◆施工上のご注意

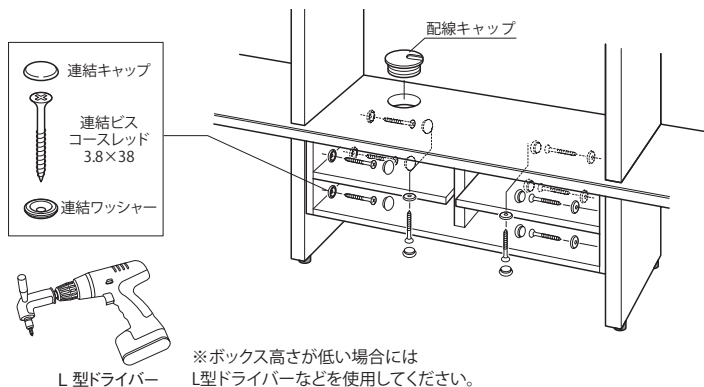
棚板はフラッシュパネルを使用しています。

ボックス設置の際にクランプ等の持具を使用する場合、必ず芯材のある位置にかかるとように、当て板をしてください。



## 2 ボックスの取り付け

ボックスを方立に固定します。



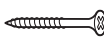


# オープンボックスの取り付け

用意する部材

**OP**

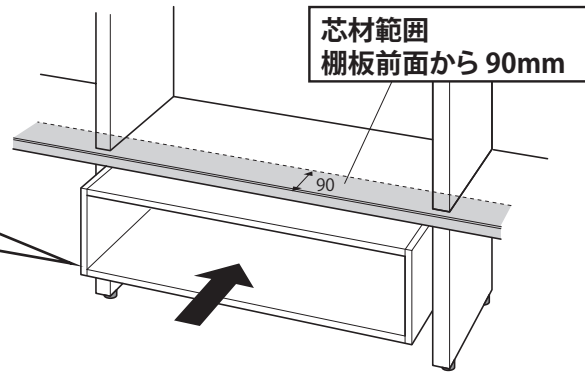
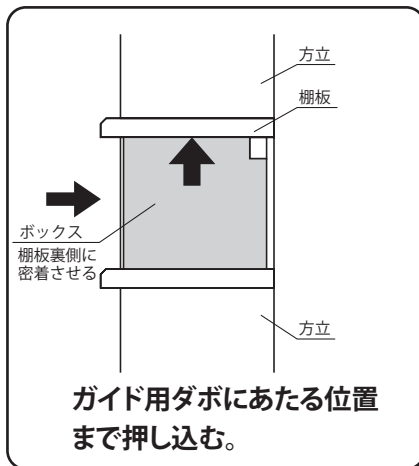
(オープンボックス)

■オープンBOXユニット (オープンBOXユニット 組立完成品)

		幅		仕様	
		奥行	種類		
		~W750	W900~		
		D250	D360	D250   D360	
		オープンユニット			
オープンBOXユニット		1			
同梱 部品	方立 固定 用	連結ビス		10	φ3.8×32
		連結ワッシャー		10	φ4用
		連結キャップ		10	ブラック/ホワイト

## 1 ボックスの設置

ボックスを所定位置に設置します。



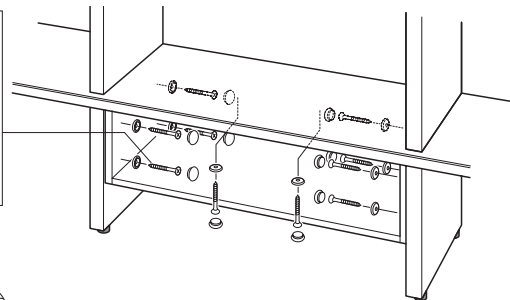
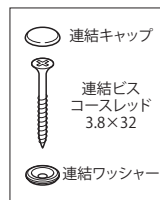
### ◆施工上のご注意

棚板はフラッシュパネルを使用しています。ボックス設置の際にクランプ等の持具を使用する場合必ず芯材のある位置にかかるとように、当て板をしてください。

⚠  
必ず行う

## 2 ボックスの取り付け

ボックスを方立に固定します。




※ボックス高さが低い場合にはL型ドライバーなどを使用してください。

# 自在棚の取り付け



用意する部材

JT

## ■自在棚

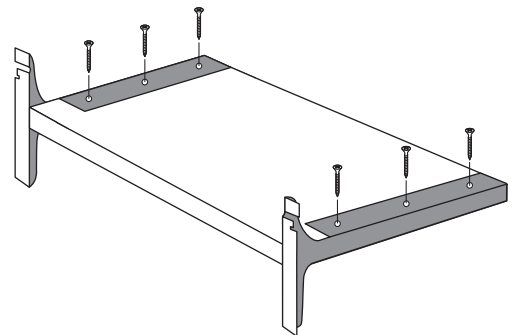
		種類	W110 /260/410/560/710/860	仕様
同梱部品	棚板		1入	t20

## ■方立(棚柱付き)

		種類	数量	仕様
同梱部品	方立		1/2/3/4入	棚柱 取付済
	ブラケット		2	ブラックまたはホワイト
	取り付けビス		6	φ4.0×15

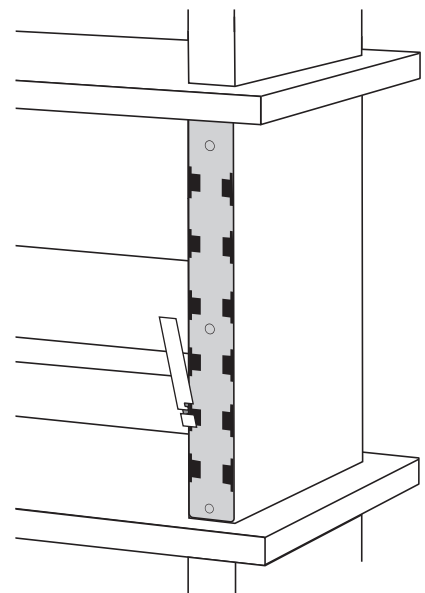
## 1 ブラケットの取り付け

棚板にブラケットを、裏面からビス留め固定します。

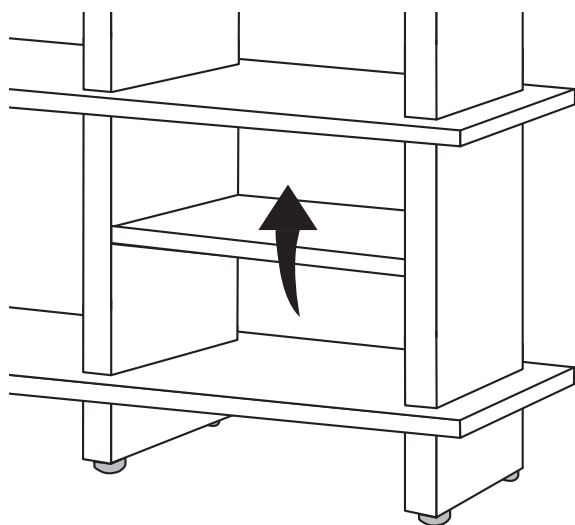


## 2 自在棚の設置

棚柱（方立に取り付け済）に取り付けます。

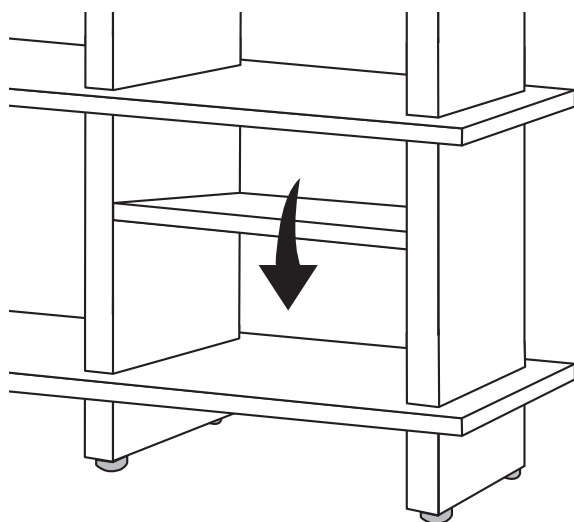
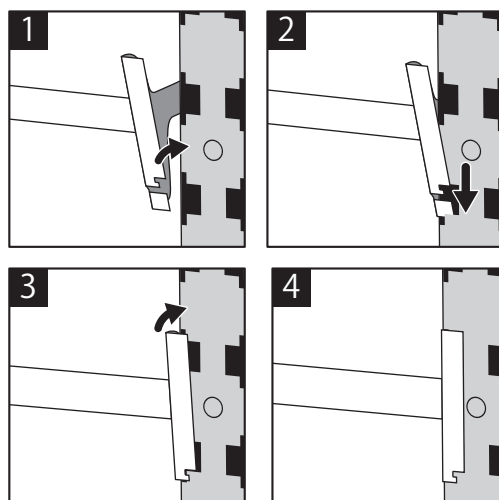
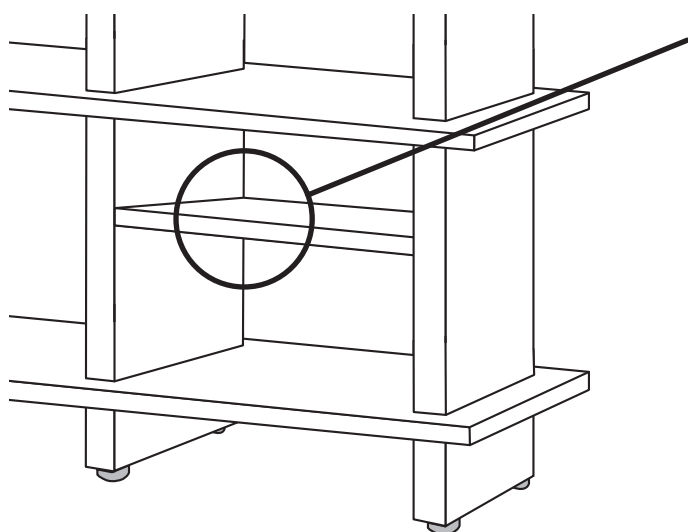


### 3 自在棚の高さの換え方



自在棚を上を持ち上げて  
棚柱から外します。

自在棚を移動させて奥側に傾けながら  
ブラケットの下部を棚柱に引っかけます。



自在棚を水平に戻します。

# ホルムアルデヒド発散区分資料

施工業者様用

フィットシェルフ

F☆☆☆☆  
(住宅部品表示ガイドラインによる)

この度はフィットシェルフをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品のホルムアルデヒド発散に関する性能担保は下の図表のようになっております。  
建築確認の際に本資料をご利用ください。

## ●製品の構成とホルムアルデヒド発散区分

規制対象外 (F☆☆☆☆)

構成部位		表面材料	発散区分	備考
①	棚板	化粧PB	規制対象外 (F☆☆☆☆)	日本建材・住宅設備産業協会表示登録品 :K-002603
②	方立	化粧PB	規制対象外 (F☆☆☆☆)	日本建材・住宅設備産業協会表示登録品 :K-002603
③	扉	化粧MDF	規制対象外 (F☆☆☆☆)	日本建材・住宅設備産業協会表示登録品 :K-002058
		化粧PB	規制対象外 (F☆☆☆☆)	日本建材・住宅設備産業協会表示登録品 :K-002603
④	ユニット本体	化粧MDF	規制対象外 (F☆☆☆☆)	日本建材・住宅設備産業協会表示登録品 :K-002058
⑤	ユニット本体	化粧PB	規制対象外 (F☆☆☆☆)	日本建材・住宅設備産業協会表示登録品 :K-002603
⑥	丁番等の金具	-	告示対象外	
⑦	納まり部材等	-	規制対象外部位	規制対象外 (F☆☆☆☆) 同等品質材料を使用

# 木質材料の性質について

## 木質収納扉の「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた収納扉は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は、収納扉周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、収納扉の室内側と収納庫側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。

## 「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

- ① エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、収納扉に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。
- ② 夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内側と収納庫側の環境条件の差を極端に大きくしないでください。
- ③ 収納扉に直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を掛けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は室内側と収納庫側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

## ユーザー登録サービス

製品を末永く安全にご使用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です！！

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



## お問い合わせ窓口について

●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

### 製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター

**0120-787-505**

(フリーダイヤル)

●受付時間…平日9:00～17:00

(土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいております)

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで  
写真も  
送ることが  
できます。



### 修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ

部品のネット販売サイトです。

※購入に際しては登録が必要です。

<https://www.daiken.jp/qr/service/>

[DAIKENホームページ](#) ▶ [お客さまサポート](#) ▶

▶▶▶▶ [DAIKENパーツショップ](#)



ご相談窓口における  
個人情報のお取扱い

DAIKEN株式会社およびDAIKENグループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針(プライバシーポリシー)」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。(DAIKEN株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。) なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。